

非常用飲料水袋

N 日本製袋株式会社

災害時給水対策品

災害時に、スムーズな給水活動ができます。

日本製袋の非常用飲料水袋は、災害時に飲料水の容器として使用する袋です。緊急な補給活動を、より迅速に、効率よく、公平に行うことができます。平常時はコンパクトに保管できるため、収納場所もとりません。災害時における飲料水の確保は防災計画の基本。日頃からの危機管理対策として、常備していただきたい品です。

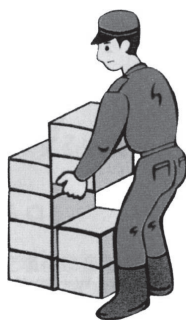
全てポリエチレン製のため、リサイクル時の分別が不要です。

保管 は省スペース



1箱で、飲料水1トン分。

飲料水1トン分(10L用×100袋)が段ボールケース1箱(420×315×205mm)に収納。スペースをとらずコンパクトに保管できます。



充填 は迅速

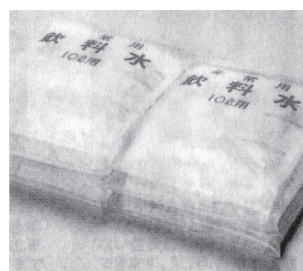


注入口が自動密閉。

水道用ホースなどを使って飲料水を入れた後、注入口は自動密閉します。フタの開け閉めの手間がなく、迅速に充填できます。
[実用新案登録済]

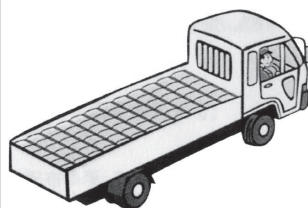


搬送 は効率よく



トラックで、効率搬送。

給水車がない、少ない、または出動できない場合、普通車両での給水活動を可能にします。しかも、4段積みくらいまで積載でき、搬送効率も抜群です。



配分 は公平



給水現場での公平性。

住民が持ち寄るヤカンやポリタンクなどの配分と違い、容器のない住民にも飲料水を配布できます。緊迫した給水現場での公平性が保てます。



「命の水」を確保する機能

自動密閉する、独自の特殊注入口

特殊注入口は、充填後に自動密閉。排水もスプーンや箸などで簡単にできます。また、注入口は厚みが少なく、かさばらず、収納や搬送時の妨げになりません。

安全性、耐久性に優れたポリエチレンを使用

原料には、厚生省告示第20号に適合した低密度ポリエチレンを採用。安全性はもちろん、強度、耐久性ともに安心して使用できます。

使用状況に合わせて、2サイズ

配布場所、配布対象者などによって使い分けられるよう、10L用、6L用を2サイズを用意しました。

両手が自由に使える「背負い式」タイプもあります。

- 袋の下部にある、色付きの紐端を両方向に引いて下さい。約2mの肩紐が出てきます。
- 手提げ穴に肩紐を通して結ぶだけで、リュック型に変身です。
- 重い水も48mm巾の肩紐で、らくらく運べます。
- 手提げタイプとしても使用出来ます。

規格	価格(単価×入数)	寸法(厚さ×幅×長さ)	入数/ケース	段ボールケース外寸法 (厚さ×幅×長さ)
10L用(手提げ式)	@680×100袋=68,000	0.2×380×560(約/mm)	100袋/1ケース	420×315×205(約/mm)
6L用(手提げ式)	@630×100袋=63,000	0.2×380×460(約/mm)		
10L用(背負い式)	@880×100袋=86,000	0.2×380×560(約/mm)		
6L用(背負い式)	@830×100袋=83,000	0.2×380×460(約/mm)		

※全てケース単価の出荷となります。 ※名前入れも承ります。(別途御見積)

取り扱い・使用上の注意

- 常温の飲料水用としてのみご使用下さい。
- 強い衝撃や高温物への接触は避けて下さい。
- 強度的には4段積みくらいまで可能ですが、必ず転倒防止の処置を行って下さい。
- 点線以上に飲料水を入れしないで下さい。
- 特に、投げたり、高い所から落したり、突起物にあてると、破れて漏水する場合があります。
- ご使用前は、段ボールケースから出さず、高温・多湿の所を避けて保管して下さい。